

実務経歴書

私は、^{二級}建築士の^{免許}試験を受けたいので、建築実務の経歴を以下のとおり記載し、併せて使用者その他これに準ずる者が以下の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、以下の事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

年 月 日

氏名.....

神奈川県知事
 神奈川県指定登録機関
 一般社団法人 神奈川県建築士会会長 殿

勤務先等					
勤務先（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
		年 月～ 年 月	年 月		
在 職 期 間		地 位 職 名	建 築 実 務 の 内 容（建築士法施行規則第1条の2）		
年 月～ 年 月	年 月数				
年 月～ 年 月	年 月				
年 月～ 年 月	年 月				
年 月～ 年 月	年 月				
建 築 実 務 の 詳 細			建 築 実 務 経 験 期 間 の 合 計		
			年 月		
(1)	対 象 物 件 の 名 称 等	対 象 物 件 の 所 在 地	建 築 実 務 経 験 期 間		建 築 実 務 の 割 合
			年月～年月	年月数	
			年 月～ 年 月	年 月	
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					実務コード
(2)	対 象 物 件 の 名 称 等	対 象 物 件 の 所 在 地	建 築 実 務 経 験 期 間		建 築 実 務 の 割 合
			年月～年月	年月数	
			年 月～ 年 月	年 月	
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					実務コード
(3)	対 象 物 件 の 名 称 等	対 象 物 件 の 所 在 地	建 築 実 務 経 験 期 間		建 築 実 務 の 割 合
			年月～年月	年月数	
			年 月～ 年 月	年 月	
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					実務コード
※登録機関記載欄					

注) 建築実務経験の詳細について、記入欄が不足する場合は、裏面に記入してください。裏面の「記入上の注意」を必ずお読みの上、ご記入ください。

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
			年 月～ 年 月	年 月	%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
			年 月～ 年 月	年 月	%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
			年 月～ 年 月	年 月	%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		建築実務の割合
			年月～年月	年月数	
			年 月～ 年 月	年 月	%
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				実務コード
※登録機関記載欄					

【記入上の注意】 必ずお読みください。

- この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。
- 建築実務経験期間欄は、在職中に建築関係の業務を行った年数を記入してください。在職中に土木関係と建築関係の業務を同時に行った場合は、建築関係業務の割合（割合を「建築関係業務の割合」欄に記入）を年数に換算して記入してください。（例 1年間土木50%建築50%行った場合、建築に関する実務経験年数は6月とする。）
- 在職中に長期療養等の理由で実際に建築に関する実務に就いていなかった期間は、建築実務経験期間に入れないで計算します。
- 実務経験の対象となる業務の内容について、別紙「建築士試験に係る実務経験の対象実務の例示コード表」より該当するコードを「実務コード」欄へ記入してください。
- なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。